

イザベラ・バードの道を 活かした地域づくりフォーラム

日時：2010年11月27日（土）

場所：国指定重要文化財「豊平館」 札幌市中央区中島公園1番20号

明治11（1878）年、開国後、間もない日本を一人で訪れた英国女性旅行家イザベラ・バードは、まだ鉄道も無い東北から北海道へ、そして北海道では函館から室蘭、白老、平取まで歩き通しました。彼女はその旅で何を見て、何に心を動かしたのでしょうか？

フォーラムでは、地域の歴史や自然環境を大切にしながら、人々のつながりや地域の個性を活かした地域づくりを考えていきます。



フォーラム

正面図

15:00~17:30

参加費：無料

●基調講演

「地域の自然と歴史を活かした地域づくり」

西山 徳明 教授（北海道大学観光学高等研究センター）

●パネルディスカッション

「エコツーリズムを通じた地域再生に関わる担い手・サポーターの育成に向けて」

◇パネリスト（五十音順）

荒 教昭氏（豊浦町郷土研究会）

伊吾田宏正氏（酪農学園大学狩猟管理学研究室講師）

笹森 琴絵氏（海洋生物調査員・自然写真家）

野川 裕史氏（環境省ウトロ自然保護官事務所上席自然保護官）

◇コメンテーター

西山 徳明 教授（北海道大学観光学高等研究センター）

◇コーディネーター

辻井 達一氏（北海道環境財団理事長）



晚餐会

18:00~19:30

「イザベラ・バードの食卓」 会費：4,000円（ワンドリンク付）

*イザベラ・バードの旅行記『日本奥地紀行』には、北海道に上陸してから、様々な食材との出会いの記述があります。エゾシカ肉、サケ、鶏肉、卵、まめなどなど。「イザベラ・バードの食卓」では、明治初期の食べ物の一部の再現を試みます。

- 主催：イザベラ・バードの道を辿る会
- 後援：酪農学園大学、社団法人北海道開発技術センター
財団法人北海道環境財団、財団法人日本グラウンドワーク協会
- 助成：公益財団法人秋山記念生命科学振興財団

- お申込み、お問合せは下記の連絡先へ
*「イザベラ・バードの道を辿る会」担当：窪田
Fax：01457-2-2665
e-mail：ruriko-kubota@nexyzbb.ne.jp